



キラリ通信



鹿屋市立西原小学校
令和4年6月30日発行
No.1

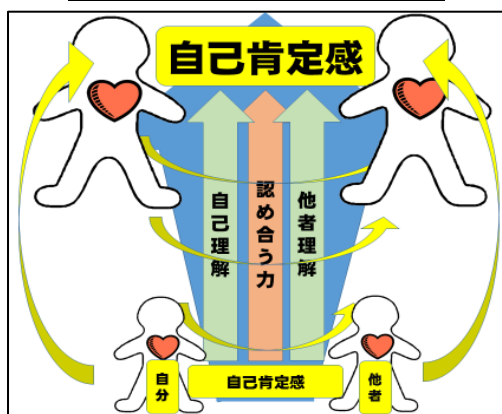
西原小学校では、令和2年度から「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし高め合う子どもの育成」をテーマに、子どもの自己肯定感を高めることを目指して研究をしています。

今年度は、本校での研究の様子や取組を紹介し、子どものキラリと輝く言葉や行動を取り上げる「キラリ通信」を年4回発行します。学校と家庭が協力し合い、思いを伝え合うことができる通信にしていきたいと考えています。第1号では、①育てたい子どもの姿 ②学校での取組 ③家庭での取組 ④2年間の成果と課題 ⑤3年目の重点項目 についてお伝えします。

② 学校での取組

- ペア活動やグループ活動の充実
- 振り返りの時間の設定（自他のよさに気づく機会の設定）
- ラブリーコーナーや学年キラリコーナーで言葉や行動を認める掲示の充実
- 学校キラリボックスに届いた子どもや職員が見付けたキラリを放送で紹介
- 学級週報で「今週のキラリ」を紹介

① 育てたい子どもの姿



③ 家庭での取組

- 家庭での役割をもたせ、頑張りを認める言葉かけ
- 思いを受け止め、努力を認める言葉かけ
- 地域の行事に積極的に参加し、多くの他者と関わる経験の蓄積
- 学期末に持ち帰る道徳ノートへの励ましコメントの記入
- 学級通信のキラリコーナーによる我が子や友達の理解や称賛

④ 2年間の成果と課題

	R1	R3	増減
友だちとの関係	12.95	12.65	↓ 0.30
教師との関係	11.65	11.69	↑ 0.04
学習意欲	12.27	12.31	↑ 0.04
自己肯定感	10.89	10.94	↑ 0.05
心身の状態	10.92	11.04	↑ 0.12
学習集団における適応感	12.58	12.82	↑ 0.24

2年間の成果(職員アンケートより)

- 自分と違う考えを聞き「そんな考えもあるんだ」と受け入れることができ、認め合う姿が増えてきた。
- 普段の何気ない友達に対する子どもの行動や言葉かけの中から成長を感じることが多かった。
- 友達との関係を高めるために、キラリコーナー等やペア・グループでの活動を充実させ、自他の良い所を知る機会を増やします。振り返りの時間を生かして、達成感・有用感・自己肯定感の育成に努めます。授業中や日常生活で、認め合える関係づくりに努めます。

⑤ 3年目の重点項目

- ☆ ペア・グループ活動の充実
- ☆ 学校キラリコーナー毎週水曜日の放送の定着
- ☆ 振り返りの時間の充実
- ☆ 家庭での自己肯定感を高める取組についての紹介

切り取り

家庭での自己肯定感を高める取組 御家庭での自己肯定感を高める取組についてお聞かせください。

() 年 () 組 児童名 ()

※ 7月9日(土)までに学級担任まで提出ください。